

平成 28 年度 国立国会図書館 学術情報の収集・保存に係る
 学協会アンケートの集計結果の概要について

平成 28 年 10 月から 11 月まで、国内学協会の学会誌・論文誌等の発行及び納本の状況、デジタル化の状況、ウェブサイトでの公開状況などのアンケートを行いました。

実施期間	送付機関数	回答機関数	回答率
平成 28 年 10 月～11 月	国内の人文・社会・自然科学分野の学協会 1,913 機関	1,128 機関	59%

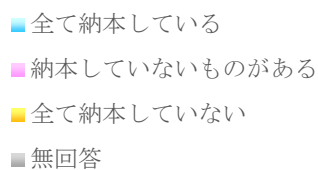
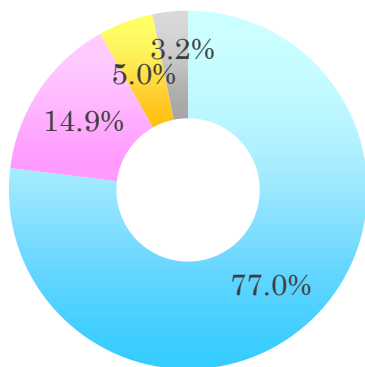
※回答率の母数は、宛先不明 11 機関を除いた 1,902 機関

1. 貴会の刊行物の 3 年以内の国立国会図書館への納本状況について

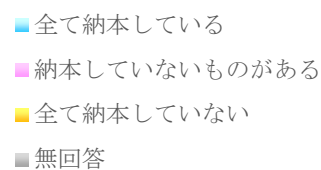
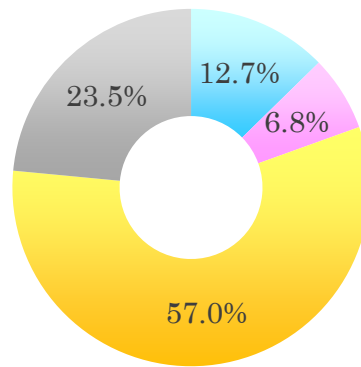
1-1. 納本状況: 1,128 機関

回答	回答数	
	冊子体、CD/DVD-ROM	オンライン資料
全て納本している	868 (77.0%)	143 (12.7%)
納本していないものがある	168 (14.9%)	77 (6.8%)
全て納本していない	56 (5.0%)	643 (57.0%)
無回答	36 (3.2%)	265 (23.5%)

冊子体、CD/DVD-ROM

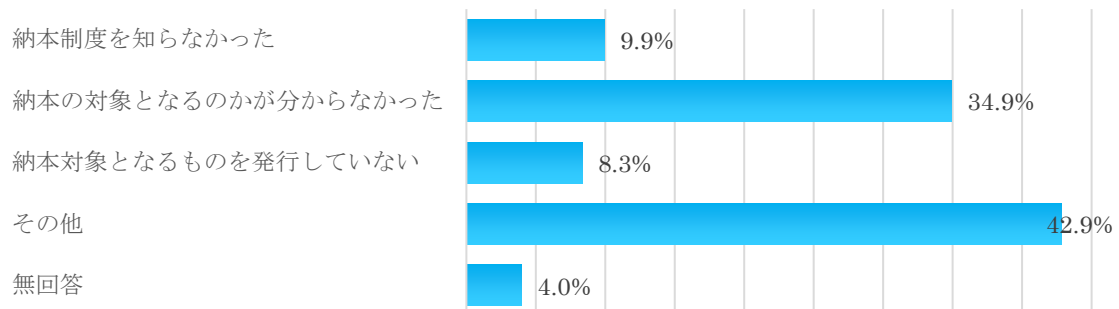


オンライン資料



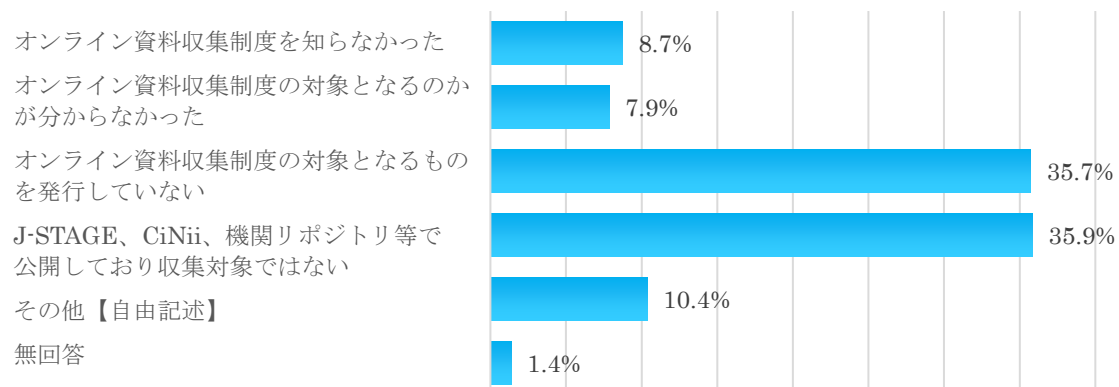
1-2.納本していない理由(冊子体、CD/DVD-ROM):複数選択可

回答	回答数
納本制度を知らなかった	25 (9.9%)
納本の対象となるのかが分からなかった	88 (34.9%)
納本対象となるものを発行していない	21 (8.3%)
その他	108 (42.9%)
無回答	10 (4.0%)



1-3.納本していない理由(オンライン資料):複数選択可

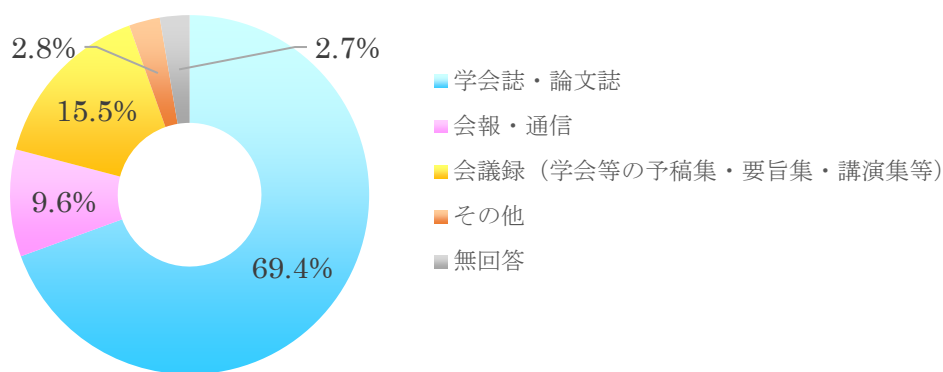
回答	回答数
オンライン資料収集制度を知らなかった	69 (8.7%)
オンライン資料収集制度の対象となるのかが分からなかった	62 (7.9%)
オンライン資料収集制度の対象となるものを発行していない	282 (35.7%)
J-STAGE、CiNii、機関リポジトリ等で公開しており収集対象ではない	283 (35.9%)
その他【自由記述】	82 (10.4%)
無回答	11 (1.4%)



2.貴会が現在刊行中及び過去に発行した全ての定期刊行物について

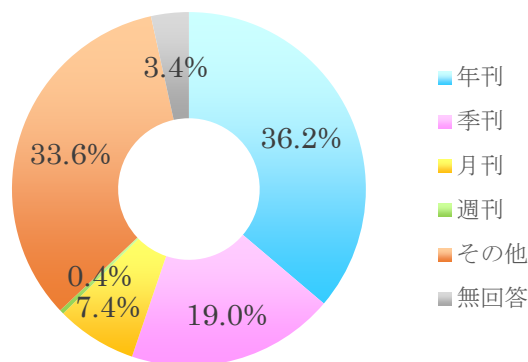
2-1.定期刊行物の資料種別:2,293 タイトル

回答	回答数
学会誌・論文誌	1,592 (69.4%)
会報・通信	221 (9.6%)
会議録(学会等の予稿集・要旨集・講演集等)	355 (15.5%)
その他	64 (2.8%)
無回答	61 (2.7%)



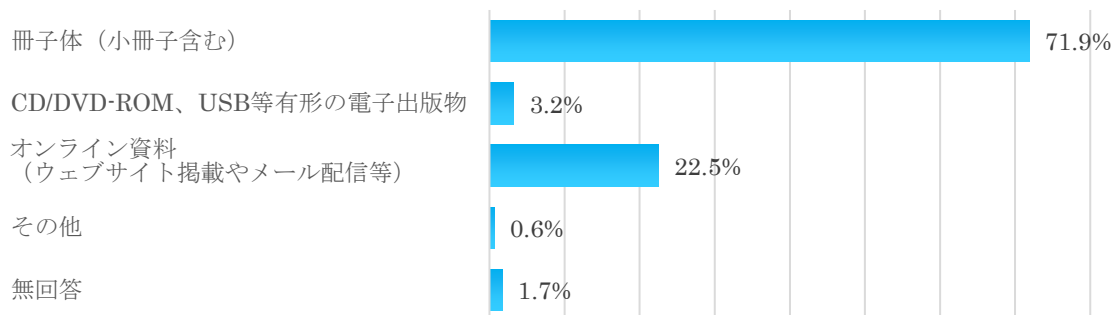
2-2.定期刊行物の刊行頻度:2,293 タイトル

回答	回答数
年刊	830 (36.2%)
季刊	436 (19.0%)
月刊	169 (7.4%)
週刊	9 (0.4%)
その他	770 (33.6%)
無回答	79 (3.4%)



2-3. 定期刊行物の刊行形態: 複数選択可

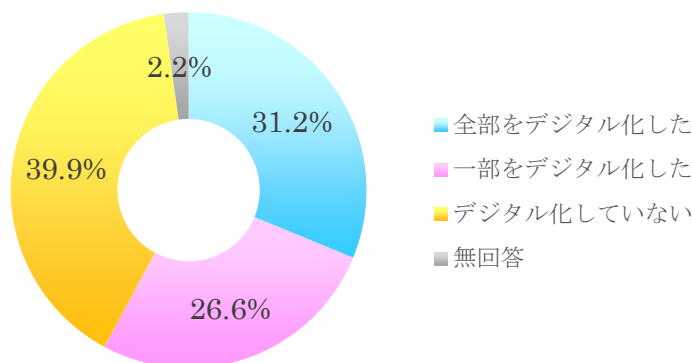
回答	回答数
冊子体(小冊子含む)	2,019 (71.9%)
CD/DVD-ROM、USB 等有形の電子出版物	91 (3.2%)
オンライン資料(ウェブサイト掲載やメール配信等)	632 (22.5%)
その他	18 (0.6%)
無回答	47 (1.7%)



3. 冊子体の定期刊行物のデジタル化状況について

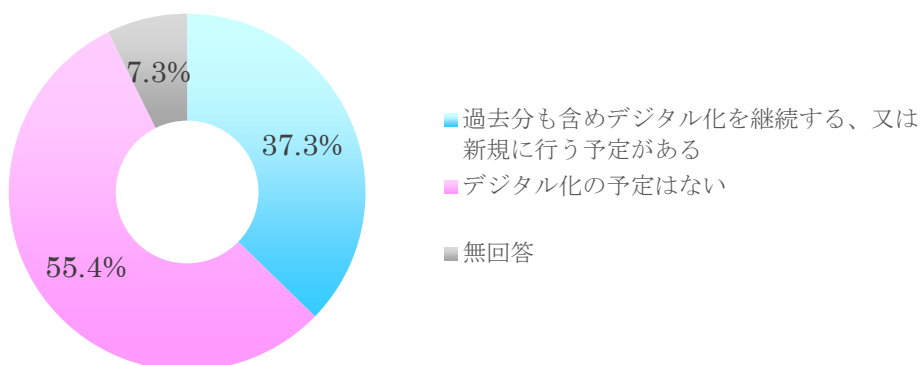
3-1. 冊子体の定期刊行物のデジタル化状況: 2,019 タイトル

	全部をデジタル化した	一部をデジタル化した	デジタル化していない	無回答
学会誌・論文誌	510	424	499	26
会報・通信	46	55	85	2
会議録	53	52	176	15
その他／無回答	21	7	46	2
計	630 (31.2%)	538 (26.6%)	806 (39.9%)	45 (2.2%)



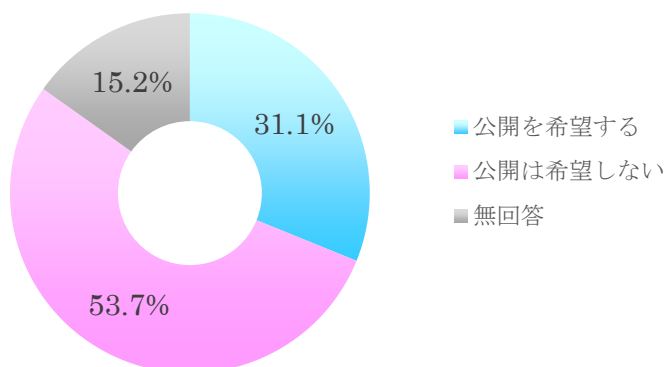
3-2.冊子体の定期刊行物でデジタル化していないものの今後の予定:1,344 タイトル

	過去分も含めデジタル化を継続する、 又は新規に行う予定がある	デジタル化の予定 はない	無回答
学会誌・論文誌	420	443	60
会報・通信	34	94	12
会議録	42	166	20
その他／無回答	5	42	6
計	501 (37.3%)	745 (55.4%)	98 (7.3%)



3-3.(3-2 で「デジタル化の予定はない」を選択した資料)NDL が当該資料をデジタル化した場合、インターネット公開の可否:745 タイトル

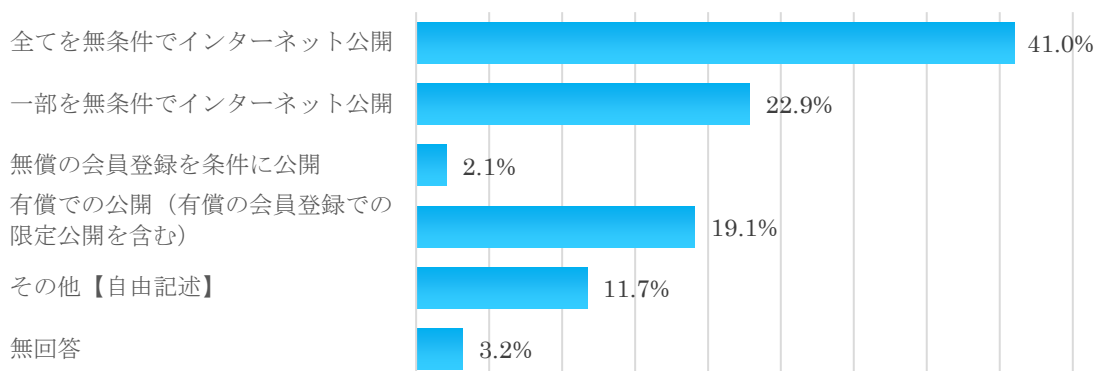
回答	回答数
公開を希望する	232 (31.1%)
公開は希望しない	400 (53.7%)
無回答	113 (15.2%)



4.刊行物をウェブサイトに掲載している場合の状況について

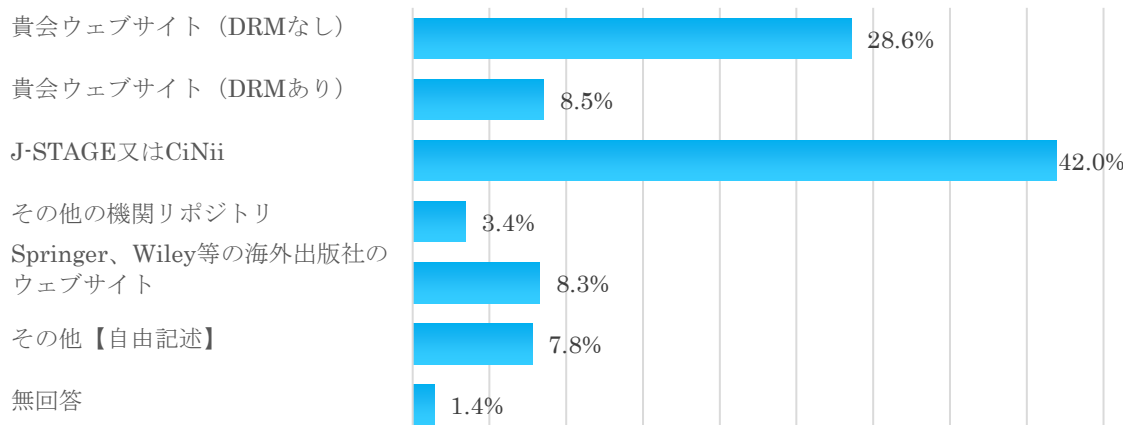
4-1.ウェブサイトに掲載している定期刊行物の公開範囲と公開条件:複数選択可

回答	回答数
全てを無条件でインターネット公開	294 (41.0%)
一部を無条件でインターネット公開	164 (22.9%)
無償の会員登録を条件に公開	15 (2.1%)
有償での公開(有償の会員登録での限定公開を含む)	137 (19.1%)
その他【自由記述】	84 (11.7%)
無回答	23 (3.2%)



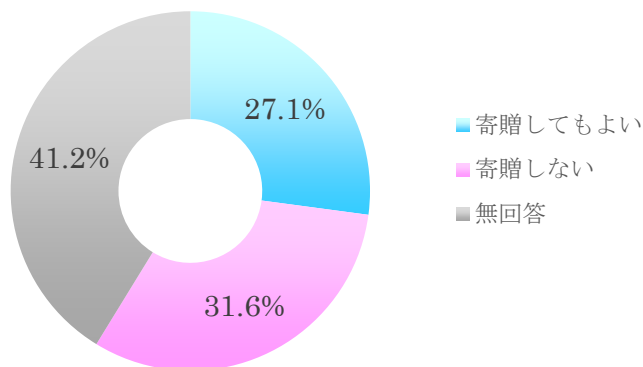
4-2.ウェブサイトに掲載されている定期刊行物の公開方法:複数選択可

回答	回答数
貴会ウェブサイト(DRMなし)	224 (28.6%)
貴会ウェブサイト(DRMあり)	67 (8.5%)
J-STAGE 又は CiNii	329 (42.0%)
その他の機関リポジトリ	27 (3.4%)
Springer、Wiley等の海外出版社のウェブサイト	65 (8.3%)
その他【自由記述】	61 (7.8%)
無回答	11 (1.4%)



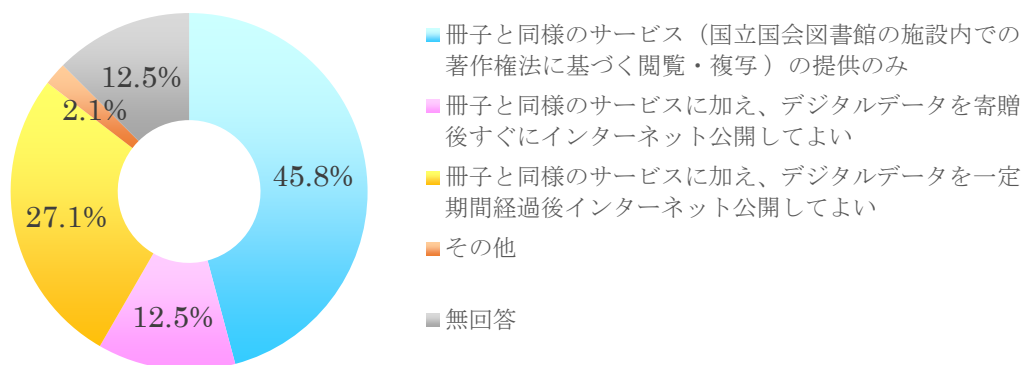
4-3.(4-1 で「有償での公開(有償の会員登録での限定公開を含む)」を選択又は 4-2 で「貴会ウェブサイト(DRM あり)」を選択した資料についての質問)現在のところオンライン資料収集制度の対象外ではあるが、NDL への寄贈の可否:177 タイトル

回答	回答数
寄贈してもよい	48 (27.1%)
寄贈しない	56 (31.6%)
無回答	73 (41.2%)



4-4.(4-3 で「寄贈してもよい」を選択した資料についての質問)寄贈したデジタルデータの利用範囲:48 タイトル

回答	回答数
冊子と同様のサービス(国立国会図書館の施設内での著作権法に基づく閲覧・複写)の提供のみ	22 (45.8%)
冊子と同様のサービスに加え、デジタルデータを寄贈後すぐにインターネット公開してよい	6 (12.5%)
冊子と同様のサービスに加え、デジタルデータを一定期間経過後インターネット公開してよい	13 (27.1%)
その他	1 (2.1%)
無回答	6 (12.5%)



5.保管期間(刊行後、配布・販売可能な在庫を確保する最短期間)について:2,293 タイトル

回答	回答数
刊行後 1 年未満	49 (2.1%)
刊行後 1 年以上 3 年未満	123 (5.4%)
刊行後 3 年以上 5 年未満	65 (2.8%)
刊行後 5 年以上	171 (7.5%)
規定なし	1,257 (54.8%)
無回答	628 (27.4%)

